

参加
無料

令和7年度
鹿児島県難病相談・支援センター

医療講演会

大規模災害時における 医薬品供給の現状と課題

～難病患者の支援者に求められる備えと連携～(仮)

講師：岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室

教授 林 秀樹 先生

3/5(木)

10:00～12:00

受付 9:30～

ハートピアかごしま

2階 大会議室

(鹿児島市小野1丁目1-1)

*会場定員80名

*ぜひ会場でご参加ください

離島からはオンライン参加も受け付けます
申込み時に希望をお知らせください/Webex使用



【対象】

- ・難病患者の支援に携わる方
保健所および市町村難病担当者,
医師, 薬剤師, 看護師, 医療相談員,
理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士,
心理士, ケアマネージャー, ヘルパー 等
- ・難病患者, 家族

【申込み】

申込フォームから →

申込期限

2月20日(金)



【問合せ】

難病相談・支援センター 相談課

〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1-1
(ハートピアかごしま 3階)

電話: 099-218-3133

(火・祝日を除く 9:00～16:00)

メール: nanbyou@pref.kagoshima.lg.jp

令和7年度医療講演会 実施要領

1 目 的

難病患者にとって、治療に用いる医薬品は症状の進行を抑制し、安定した日常生活を維持する上で極めて重要な要素である。多くの難病では、特定の医薬品を一定の間隔で継続して投与する必要があるが、投薬の中断は病状の急激な悪化を引き起こす可能性が高い。また、治療薬によっては特殊な保管条件を必要としたり、処方可能な医療機関が限られていたりする場合も多く、災害時における医薬品供給体制は、難病患者にとって非常に重要なものとなる。

本県は、温暖多雨の気候にあり、桜島をはじめとする火山活動の影響も受ける地域特性から、台風、豪雨、地震、火山災害といった自然災害の発生リスクが高い。特に本年は県内各地で線状降水帯の発生が相次ぎ、豪雨による甚大な被害が確認されており、今後も同様の災害が発生する可能性が懸念される。

そこで今回は、大規模災害発生時の医薬品供給の課題を把握するとともに、災害発生時にも難病患者が継続的に医療や医薬品の提供を受けられる体制を確保するため、支援者が平常時から備えるべきことや関係機関との連携の在り方について理解を深めるところを目的とし、医療講演会を開催する。

2 日 時：令和8年3月5日（木） 10時～12時 （受付 9時30分～）

3 場 所：ハートピアかごしま 2階 大会議室 （鹿児島市小野1丁目1-1）
※離島からはオンライン参加も可能とする。

4 主 催：鹿児島県難病相談・支援センター

5 対象者：行政職員（保健所及び市町村難病担当者等）、介護・医療従事者（医師、薬剤師、看護師、医療相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士、ケアマネージャー、ヘルパー等）、難病患者・家族等

6 内 容

時 間	内 容
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	開会
10:05～11:35	講演：「大規模災害時における医薬品供給の現状と課題 ～難病患者の支援者に求められる備えと連携～（仮）」 講師： 岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室 教授 林 秀樹 氏
11:35～11:55	質疑応答
11:55～12:00	閉会

7 申込み方法：電子申請

8 参加費：無料

9 その他：オンライン参加の際の通信料やパケット料は、参加者負担とする。
事前に接続テストを行い、原則、当日の接続や機器の不具合についての問い合わせには対応しない。